

第二編 16の政策分野から

●医療施設の整備

県立医大附属病院や県立3病院を整備し、病院機能を充実しました。

県立医科大学 附属病院	H4	老人痴呆疾患センター稼働
	H9	B病棟、H16 C病棟 稼働
	H16	放射線治療装置ノバリス導入
県立奈良病院	H4	MR-CT棟稼働
	H7	周産期医療センター稼働
県立三室病院	H5	心臓血管外科開設
県立五條病院	H4	南和地域の基幹病院としての整備完了
	H7	へき地中核病院に指定



県立医科大学附属病院
C病棟と精神医療センター

ノバリス

●看護師の育成

県立三室病院看護専門学校(H4)、県立医大看護短大(H8)、県立医大看護学科(H16)の設置

～みんなが元気で長生きする～

生涯、元気で長生きできるように、医療施設の整備、医療サービスの充実、健康被害対策、健康づくり運動などに、重点的に取り組みました。

●県立病院等のサービス改善

- 適時適温給食の開始
(H8 奈良病院、H10 医大附属・三室・五條の3病院)
- 診療予約制の導入
(H9 奈良・三室の2病院、H10 五條病院)
- 薬剤オーダリングシステム導入(H11 医大附属病院)
- 骨髄移植施設(H6)、女性専用外来(H17)、セカンドオピニオン外来(H18)の開設(医大附属病院)
- 医療安全相談窓口7箇所の開設(H15)



- 混雑緩和のため駐車場にパーキングシステム導入
(H12 奈良病院、H13 医大附属病院)

一口メモ

●全国にもまして延びる奈良県の平均寿命
H12の厚生労働省の都道府県別生命表によると、奈良県の男性の平均寿命は
全国第3位の78.36歳
となっています。

●救急医療の充実

- 救命救急センターが2ヶ所に(H9～ 奈良病院、医大附属病院)



医大附属病院高度救命救急センター

- 救急ヘリ3県共同利用の協定(H8)
- AED(自動体外式除細動器)の整備開始(H17)

- 小児救急医療の輪番制(H8～) 年間約2万人が受診
- 小児救急電話相談(H16～)
- 精神科救急医療システム(H12～)
- 広域災害・救急医療情報システムの充実(H17)

一口メモ

●救急搬送体制の着実な整備
県内の救急搬送体制の整備も着実に進んでおり、
**救急救命士 245名、
高規格救急自動車 36台**
となっています。

●感染症等の健康被害の予防

- 感染症センター新設、第1種感染症指定医療機関に指定
(H15 医大附属病院)
- SARS診療室設置(H15 県立3病院)
- SARS患者対応訓練(H15～)
- エイズ迅速検査(H17～)
- 新型インフルエンザ対策薬(タミフル)の備蓄(H18～)
- アスベスト健康対策検診(H18～)



安心の政策

●健康づくり運動

- 「健康なら21計画」の策定と推進(H13～)
- 健康情報HP「すこやかネットなら奈良NARA」開設(H13)



- 健康づくり「奈良百遊山」の配布(H15～)
- 認知症予防の総合対策(H16～)
- 「奈良県食育推進計画」の策定(H18)
- 栄養教諭の配置(H19)

- ステップアップ体操の普及、指導者養成(H15～)



約3万人が講習会に参加

●活発なスポーツ活動に向けて

- 橿原公苑の整備
体育館(H10 冷暖房等)
野球場(H13)
陸上競技場
(H14 夜間照明サッカー対応)



陸上競技場

- 学校体育施設の開放(H11～)
H18は44の県立学校で実施
- 全国スポーツレクリエーション大会の開催(H7)
17種目 約47,000人が参加